

令和8年3月

当町は、下記記載の標準準拠システムが、所属する自治体クラウドグループである「北海道情報システム協議会」において構築する、標準準拠システム専用稼働環境である「地域クラウド」により稼働することとし、「デジタル基盤改革支援補助金事務処理要領」にて規定されている、国が整備する「ガバメントクラウド」を利用した場合との性能面、経済合理性等の比較結果を公表する。

なお、下記3については、所属する自治体クラウドグループ全団体合計の比較結果となり、提供事業者における営業秘密事項に該当することから、比率のみの公表とし、令和8年度以降継続的に実績値を報告する。

津別町長 佐藤多一

記

1 標準準拠システム

システム名	取り扱う標準化対象事務
Web-TAWN	住民記録、選挙人名簿管理、固定資産税、個人住民税、軽自動車税、国民年金、後期高齢者医療、介護保険、児童手当、子供・子育て支援、印鑑登録
Usolia	障がい者福祉

2 性能面等の比較結果

比較項目	地域クラウド (専用稼働環境)	ガバメントクラウド
非機能要件への適合	○	○
DCの物理的所在地	日本	日本
情報資産の国外持出制限の有無	有	有
ガバメントクラウドとのデータ連携の可否	○	－
裁判管轄が国内で契約が日本法に基づくもの	○	○

3 経済合理性等の比較結果(令和6年度試算時点)

ガバメントクラウド試算結果を「100」とし、比率のみの公表とする。

【イニシャルコスト】

経費区分	地域クラウド	ガバメントクラウド
作業費	カスタマイズ費	100.0%
	環境構築費	97.8%
	データ移行費	100.0%
	他システム連携機能構築作業費	118.2%
	操作マニュアル作成・職員研修費	90.0%
	プロジェクト管理費	87.0%
イニシャルコスト計(導入年度のみ)		100

【ランニングコスト】

経費区分	地域クラウド	ガバメントクラウド
作業費	システム運用作業	38.4%
	ハードウェア保守作業	0.0%
	その他外部委託費	0.0%
物品費	ハードウェア借料	0.0%
	ハードウェア保守費	0.0%
	ソフトウェア借料	0.0%
	ソフトウェア保守費	114.0%
	データセンター利用費	0.0%
	通信回線費	38.6%
	クラウド利用経費	38.8%
ランニングコスト計(5年分)		100

【イニシャル・ランニングコスト合計】

55.79%

100